



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

会社名 太平化学製品株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 4223

URL <http://www.taihei-chemicals.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 豊

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 坂田 昌繁 TEL (048) 222-1122

半期報告書提出予定日 平成24年12月20日

親会社等の名称 東ソー株式会社 (コード番号 : 4042) 親会社等における当社の議決権所有比率 : 75.93%

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日 ~ 平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,621	△ 19.1	△ 158	—	△ 174	—	△ 190	—
24年3月期第2四半期	3,238	△ 9.4	18	△ 86.2	△ 13	—	△ 22	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △143百万円 (-%) 24年3月期第2四半期 △42百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△15 50	—
24年3月期第2四半期	△ 1 84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	8,761	3,138	35.8	255 28
24年3月期	8,548	3,312	38.8	269 48

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,138百万円 24年3月期 3,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	2 50	2 50
25年3月期	—	0 00	—	—	—
25年3月期 (予想)	—	—	—	2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	5,700 △ 6.9	△ 100 —	△ 120 —	△ 160 —	△ 13 02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期第2Q	12,300,000株	24年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	25年3月期第2Q	7,292株	24年3月期	7,292株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期第2Q	12,292,708株	24年3月期第2Q	12,292,708株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成25年3月期第2四半期の個別業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 個別経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,617	△ 19.1	△ 162	—	△ 176	—	△ 191	—
24年3月期第2四半期	3,233	△ 9.3	17	△ 86.9	△ 13	—	△ 23	—

	1株当たり 四半期純利益	
	円	銭
25年3月期第2四半期	△ 15	61
24年3月期第2四半期	△ 1	89

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
25年3月期第2四半期	8,725		3,126		35.8		254 31	
24年3月期	8,512		3,301		38.8		268 61	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,126百万円 24年3月期 3,301百万円

2. 平成25年3月期の個別業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	5,680	△ 7.1	△ 120	—	△ 160	—	△ 13 02	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する予想は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

1) 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）における我が国経済は、東日本大震災の復興需要や夏物家電販売の好調、エコカー補助金再開に伴う自動車販売が好調であったこともあり堅調に推移してきたものの、欧州の債務危機による世界的な信用不安から先進諸国の景気が減速し、結果、アジア経済、特に中国経済の低迷による影響が大きかったため、個人消費は弱含み、引き続き景気の足踏み状態が続きました。

このような状況の下、一部では復興需要の一端として、水処理関連部材の受注が後半より増加してきたものの、当社グループの関連業界では、最終メーカーの生産拠点の海外移転が進み、資材の現地調達化等により国内需要の減退が進行しており、さらに震災特需の反動に加え、主要分野である電機・電子・工業製品分野が回復せず、一部顧客の生産調整継続に加え、拡販計画の実施遅れが生じたことから、低迷が続いております。

このような事業環境の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、2,621百万円、対前年同期比617百万円（同19.1%）の減収となりました。利益につきましては、歩留まり向上、固定費削減を鋭意進めてまいりましたが、前述の売上減少が大きく響き、営業損失は158百万円、対前年同期比の177百万円の減益となりました。経常損失につきましては、円高進行による為替差損を計上し、174百万円、対前年同期比160百万円の減益となりました。四半期純損失につきましては、株価下落による保有有価証券の評価減、法人税等を計上したことから、190百万円、対前年同期比167百万円の減益となりました。

2) 事業の種類別セグメントの状況

①合成樹脂事業

電機・電子・工業製品の需要が低調なことに加え需要の大幅な減退や他樹脂への変更、海外品との競争に苦戦し、生産体制を見直しコスト削減を実施しましたが、売上高は、1,454百万円、対前年同期比501百万円（同25.6%）の減収、セグメント損失につきましては、122百万円、対前年同期比134百万円の減益となりました。

②化成品事業

コンパウンド事業は、前年同期にありました震災特需の反動により売上高が低水準で推移、また、ホットメルト事業は安価な輸入品が市場を席卷し減少しました結果、売上高は、1,166百万円、対前年同期比115百万円（同9.0%）の減収となりました。セグメント利益につきましては、183百万円、対前年同期比44百万円（同19.7%）の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、主に現預金の増、売上債権や棚卸資産の減少等の結果、前連結会計年度末と比較して213百万円増加し、8,761百万円となりました。

負債は、主に短期借入金の調達、買入債務の減少、長期借入金の返済の結果、388百万円増加し、5,623百万円となりました。

純資産は、四半期純損失に加え、配当金支払やその他有価証券評価差額金の計上等により、174百万円減少し3,138百万円となりました。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動及び財務活動の結果得られた資金が、投資活動に使用した資金を上回ったことにより、前連結会計年度末に比べ699百万円増加し1,270百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、198百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失が296百万円あったものの、売上債権及び棚卸資産が461百万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、24百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得19百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、534百万円となりました。これは主に長期借入金の返済が54百万円あったものの、短期借入金の純増額が620百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日)の業績は、電機・電子・工業製品分野が低調なことから、需要は減退し、合成樹脂、化成品分野の消費が回復せず低調に推移しました。平成25年3月期通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の業績予想につきましては、引き続き厳しい状況が続くものと見込んでおりますが、復興需要による水処理関連部材の増販が見込まれることに加え、生産体制の見直し等によるコスト削減策を実施いたします。

しかし、期初に取り組んだ計画の見直しを余儀なくされ、引き続き厳しい事業環境が継続するものと見込んでおり、業績予想を達成することが困難な状況となったことから、平成25年3月期の業績予想を修正することといたしました。

詳細につきましては、本日(平成24年11月1日)公表いたしました「業績予想の修正(連結及び個別)及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	570	1,270
受取手形及び売掛金	2,062	1,857
商品及び製品	1,071	872
仕掛品	231	205
原材料及び貯蔵品	352	325
繰延税金資産	86	86
その他	80	38
貸倒引当金	△ 0	△ 0
流動資産合計	4,456	4,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	342	321
機械装置及び運搬具（純額）	499	504
土地	2,759	2,759
リース資産（純額）	9	8
建設仮勘定	36	33
その他（純額）	14	11
有形固定資産合計	3,661	3,639
無形固定資産		
ソフトウェア	1	1
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	4	3
投資その他の資産		
投資有価証券	141	91
繰延税金資産	268	352
その他	16	17
投資その他の資産合計	426	461
固定資産合計	4,092	4,105
資産合計	8,548	8,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,180	993
短期借入金	2,480	3,100
1年以内返済予定の長期借入金	108	108
リース債務	2	2
未払金	150	124
未払法人税等	2	5
未払消費税等	18	28
未払費用	68	60
賞与引当金	112	107
設備関係支払手形	13	59
その他	8	7
流動負債合計	4,144	4,596
固定負債		
長期借入金	322	268
リース債務	7	6
退職給付引当金	642	656
役員退職慰労引当金	48	24
長期預り保証金	50	52
その他	19	19
固定負債合計	1,090	1,026
負債合計	5,235	5,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,222	1,222
資本剰余金	958	958
利益剰余金	1,178	957
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	3,359	3,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 46	0
その他の包括利益累計額合計	△ 46	0
少数株主持分	—	—
純資産合計	3,312	3,138
負債純資産合計	8,548	8,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,238	2,621
売上原価	2,796	2,390
売上総利益	442	230
販売費及び一般管理費	423	389
営業利益又は営業損失(△)	18	△ 158
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	2	2
その他	28	19
営業外収益合計	31	22
営業外費用		
支払利息	23	22
その他	40	15
営業外費用合計	63	38
経常損失(△)	△ 13	△ 174
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	122
災害による損失	7	—
特別損失合計	7	122
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 21	△ 296
法人税、住民税及び事業税	1	△ 106
法人税等合計	1	△ 106
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 22	△ 190
四半期純損失(△)	△ 22	△ 190

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△ 22	△ 190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 19	46
その他の包括利益合計	△ 19	46
四半期包括利益	△ 42	△ 143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 42	△ 143
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純損失(△)	△	21	△	296
減価償却費		101		87
退職給付引当金の増減額(△は減少)		35		13
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)		4	△	24
賞与引当金の増減額(△は減少)		2	△	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△	0	△	0
受取利息及び受取配当金	△	2	△	2
支払利息		23		22
為替差損益(△は益)		24		8
有形固定資産除却損		0		0
投資有価証券評価損		—		122
売上債権の増減額(△は増加)		125		205
たな卸資産の増減額(△は増加)	△	160		255
仕入債務の増減額(△は減少)	△	11	△	187
未払消費税等の増減額(△は減少)		3		9
その他		11	△	15
小計		137		193
利息及び配当金の受取額		2		2
利息の支払額	△	25	△	20
法人税等の支払額	△	8	△	2
法人税等の還付額		—		25
営業活動によるキャッシュ・フロー		106		198
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券の償還による収入		0		—
有形固定資産の取得による支出	△	29	△	19
有形固定資産の除却による支出	△	0		—
長期前払費用の取得による支出	△	1	△	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	31	△	24
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)		—		620
長期借入金の返済による支出	△	102	△	54
リース債務の返済による支出	△	0	△	1
配当金の支払額	△	31	△	30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	133		534
現金及び現金同等物に係る換算差額	△	24	△	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△	82		699
現金及び現金同等物の期首残高		1,069		570
現金及び現金同等物の四半期末残高		986		1,270

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂事業	化成品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,956	1,281	3,238	—	3,238
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,956	1,281	3,238	—	3,238
セグメント利益	12	228	240	△ 221	18

(注) セグメント利益調整額△221百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△223百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂事業	化成品事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,454	1,166	2,621	—	2,621
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,454	1,166	2,621	—	2,621
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△ 122	183	61	△ 220	△ 158

(注) セグメント利益調整額△220百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。